

技術・家庭科(家庭分野)学習指導案

日 時 平成24年6月19日
対 象 千葉市立花園中学校
3年3組 39名
授業者 内藤 利枝子
場 所 被服室

1. 題材名

D 身近な消費生活と環境（商品の選択に関する意思決定）

2. 題材について

[題材観]

「消費者市民社会」という言葉がある。個人が、消費者・生活者としての役割において、社会問題、多様性、世界情勢、将来世代の状況などを考慮することによって、社会の発展と改善に積極的に参加する社会を意味する。ここではTシャツやコーヒー、文房具などを題材に、量販店で大量に、安い価格で販売されている現状やしぐみに関心をもち、生産や販売の仕組みを知る。その上で商品選択の観点を考え、ランキングすることを通して、買い物（消費）が個人の満足感を満たすことだけではなく、消費者市民としての役割を果たすにはどのように消費行動の意思決定をすればよいかを考える。

[指導観]

買い物をすること＝「消費者の選択」が、社会を変える、社会をつくる小さなきっかけとなることに気づかせる。また、ランキングを通して、友だちの考えを批判的思考をもって聞くこと、自分の意見を筋道立てて伝えること、自分の意思決定と友だちの考える観点を意見を交換することを通して、言語活動についても深めていく。

[生徒観]

社会の一員として消費者の意識を高める力、意思決定できる力をつけさせ、このことが、一市民として消費者市民社会をつくる小さなきっかけとなることに気づかせる。また、友だちの考えを批判的思考力をもって聞くこと、自分の意見を筋道立てて伝えること、自分の意思決定と友だちの考える観点を意見を交換することを通してコミュニケーション能力をつけさせる。

3. 題材の目標

- (1) 商品の生産と販売について関心をもち、消費行動の意思決定について考える。（関心）
- (2) 商品の選択、購入について考え、これからの自分の消費行動を考える。（技能）

4. 題材の評価規準

評価の観点	評価規準
生活や技術への関心・意欲・態度	・自分や家族の消費生活について関心をもち、消費の在り方を改善しようとしている。 ・身近な販売方法に関心をもち、その利点と問題点について考えようとしている。
生活を工夫し創造する能力	・収集・整理した情報を活用して物資・サービスの選択、購入及び活用について考え、工夫している。
生活の技能	・物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。
生活や技術についての知識・理解	・消費者の基本的な権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。 ・中学生にかかわりの深い販売方法の特徴について理解している。 ・物資・サービスの選択、購入及び活用に関する知識を身に付けている。

5. 指導・評価計画 (9時間扱い)

授業班作成の指導・評価計画。「身近な消費生活と環境」のうち、消費行動の意思決定に関する4時間を示す。

時間	○ねらい◆学習内容	関	創	技	知	評価規準・評価方法
1 1年	○商品購入の意思決定のプロセスを考える。 ◆ジュース、トイレットペーパーを題材に、意思決定のプロセスを考える。	○		○		・自分や家族の消費生活に関心をもつ。 (関) 発表、意見交換 ・買い物をするときの意思決定の流れを考慮することができる。(技) ノートの記述
1 1年	○生活情報を活用して、商品を選択する。 ◆価格の決まり方がわかる。 ○価格のきまり方を理解する。 ◆商品選択のための情報源を知り、表示とマークが示している内容がわかる。			○	○	・商品の購入時に必要な情報を分析しながら整理することができる。 (技) ノートの記述 ・商品の購入時に、情報の必要性を理解している。 (知) ノートの記述
1 1年	○消費者の権利と責任について理解する。① ◆消費者の8つの権利と5つの責任を理解する。 ◆自転車を題材にして、消費者の権利と責任について考える。	○			○	・自分の消費生活について関心をもち、消費のあり方を改善しようとしている。 (関) ノートの記述 ・消費者の権利と責任が、よりよい社会をつくることを理解している。 (知) ノートの記述
1 本時 3年	○消費者の権利と責任について理解する② ◆商品やサービスの購入の観点に気付く。 ◆消費者として、商品の選択、購入の工夫について考える。	○		○		・個人の行動が、社会にはたらきかける消費者としての力をもつことに気付いている。 (関) 意見交換の様子 ・収集、整理した情報を活用して、物資・サービスの選択、購入及び活用について考えている。 (技) ノートの記述

6. 本時の指導

(1) 内容 商品の選択、購入の意思決定について、ダイヤモンドランキングの手法を用いて考える。

(2) 本時の目標

1. 消費者市民社会をつくる一員としての、商品の選択、購入及び活用の観点に気づく。(関心)
2. 商品の選択、購入、活用について、一市民としての消費の意思決定ができる。(技能)
3. 消費者市民社会について知る。(理解)

7. 本時の評価規準

おおむね満足	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を 工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
	・個人の行動が社会に行動できる消費者としての力をもつことに気付いている。		・商品の選択・購入及び活用について情報を整理している。 ・消費者市民社会をつくる一員として、どのように商品を選択、購入、活用したらよいか考える。	

8. 本時の展開

学習過程	時配	生徒の活動	教師の指導と留意点	資料・評価（方法）
課題をつかむ	2分	消費者として商品を選択、購入、活用するには、どのように考えたらいだろうか		
	3分	<ul style="list-style-type: none"> 商品の購入を考える。 A：チョコレート、紅茶、コーヒー B：Tシャツ C：ノート、ペン、シャープペンシル D：くつ 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を振り返り、どのような観点で選択、購入をするか、観点を考える。 	
追究する	5分	<ul style="list-style-type: none"> 情報を収集する。 	<ul style="list-style-type: none"> 商品の例を提示する。例えば フェアトレードチョコレート 応援消しゴム ユニセフの帽子 エコマーク付きのペン 開発国支援の紅茶 など 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を整理している。 (技) (話し合い)
	5分	<ul style="list-style-type: none"> グループで意見交換して、購入の観点を5つ挙げる。カードに書き、ランキングをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをわかりやすく伝えるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 商品の選択と購入の観点到に気付いている (関心) (話し合い)
深める	10分	<ul style="list-style-type: none"> 教師が用意したカード4枚を観点に入れて、合計9枚でランキングをする。 (ダイヤモンドランキング) 	<ul style="list-style-type: none"> 4枚のカードは、消費者市民を育てる内容を用意する。 	
	5分	<ul style="list-style-type: none"> 発表する。ランキングの理由を話す。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換しながらランキングをする。自分の考えははっきりと伝える。反対意見もしっかりと伝える。 	
	5分	<ul style="list-style-type: none"> 消費者は、安い商品の購入には魅力があるが、個人の満足を高めるだけでなく、国際情勢や地球環境を考えた、行動する「一市民」であることを知る。 ＝消費者市民社会 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者市民社会について話す。 <ul style="list-style-type: none"> 「倫理」「正義」 「持続可能な開発」 「社会貢献」 	
まとめる	15分	<ul style="list-style-type: none"> 考えたことをノートに書く。 発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> どのような消費行動ができるか個人の利益だけでなく、社会全体を考えた選択の観点を書くように助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人の行動が、社会に行動できる消費者としての力をもつことに気付いている。 (技能) (ノートの記述)
		消費者市民社会をつくる一員として、商品を選択する観点を考えることができたか	観点： <ul style="list-style-type: none"> 個人の満足だけを求めない。 一市民としての消費行動の意思決定ができる。 	